授業科目	アジア文化交流研修Ａ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	神崎　明坤						
授業概要	中国の大連大学の夏期研修に参加する。研修出発前の 12 回の授業に加え、現地での約 2 週間の研修を受けることで、この授業の完成を遂げる。これは日本での授業に出席し、現地での研修を受けることで単位を取得できる科目である。本講義は中国の歴史、地理、政治経済、文化等を学ぶと同時に現地での生活に必要な中国語会話、表現能力を身に付けることである。さらに大連大学での研修期間に大連周辺の観光や中国人の大学生との交流、大連にある日本企業（ANA、キャノン）への見学、在北九州の事務所への訪問等をも実施する予定である。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	中国の文化や生活について理解することができる。 研修先大連及び大連大学の基本情報を把握することができる。 自国の文化と中国の文化を相対的に観察できる。 国際化についての理解を深めることができる。 中国語の総合能力を身に付けることができる。 異なる価値観を認める柔軟さと実践力を兼ね備えることができる。
理想的レベル	アジア文化交流研修の授業を通して、国際意識を養い、アジアに視野を広め、世界を舞台に活躍することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	41%	
小テスト	05%	
レポート	25%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	05%	
その他	04%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN11302J/E

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習と調査	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション・授業の説明
第 2 回	中国中の大連、大連地理、中国語会話
第 3 回	中国と日本との関係、中国語会話
第 4 回	中国の基本状況（政治、経済）　中国語会話

第 5 回	中国の基本状況（社会、文化）中国語会話
第 6 回	大連の基本状況（歴史）　中国語会話
第 7 回	大連の基本情報（文化、教育）　中国語会話
第 8 回	大連の基本情報（観光）　中国語会話
第 9 回	大連大学の基本情報（学生生活）中国語会話
第 10 回	大連での生活　中国語会話
第 11 回	研修に関する事前指導　研修内容、中国語会話
第 12 回	出国準備オリエンテーション
第 13 回	実用中国語会話の勉強とレッスン、異文化との交流
第 14 回	実用中国語の会話の勉強とレッスン、長崎文化と歴史への研修
第 15 回	総括、総復習と課題
テキスト	特に指定しない。プリントの配布。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『日中国交正常化の政治史』　名古屋大学出版会　井上正也 『現代中国政治』　名古屋大学出版会　毛里和子 プリント教材を適宜配布する
課題に対するフィードバックの方法	アジア文化の学習を通して国際交流ができることや、 異文化交流のノウハウ、また新たに現場に対応できる応用力、実践力、授業に対する姿勢等により評価する。 小テスト、発表、レポートや定期試験等を実施します。小テストや発表評価は採点後、返却します。 15 回目の授業中に定期試験を実施します。
学生へのメッセージ・コメント	新聞やインターネットを利用して中国及び大連に関する知識情報などを習得すること。 現地での研修がより上手く行くためには、中国を研修する前にできるだけ現地の情報を多く知り、中国語の能力を身に付けることが大事である。有意義な研修ができるよう、しっかり頑張ってもらいたい。